

(様式 1-3)

釜石市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 30 年 6 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	166	事業名	都市公園事業 (片岸) (整備費)	事業番号	D-22-6
交付団体	市	事業実施主体 (直接/間接)	市		
総交付対象事業費	76,903 (千円)	全体事業費	308,737 (千円)		
事業概要					
東日本大震災による津波によって甚大な被害を受けた片岸町において、既設防潮堤の嵩上げを行うが、最大規模の津波に対しては浸水が想定されることから、直接的な被害の軽減をはかるため、漂流物の補足を目的とした植樹を主に公園整備を行う。					
種 別	津波防災緑地				
公園面積	6.7ha				
事業期間	H29~H32				
総事業費	308,737 千円				
施設計画	・津波漂流物を補足するための植栽 ・湛水機能を有する公園				
防災機能	震災により 1069 戸の被害を受けた当地区において、被災箇所をかさ上げし、区画整理事業により宅地整地を行っている。防潮堤を被災前の T.P+6.4m から T.P+14.5m まで嵩上げすることで減災効果を高めることにより、区画整理事業による宅地の確保が可能となりますが、それでもなお最大クラスの津波においては浸水が想定されることから、漂流物の補足を目的とした植樹を主に公園整備を行う。				
●復興まちづくり基本計画における該当箇所及び概要					
基本目標 1	暮らしの安全と環境を重視したまちづくり 地震が発生したら高台へ逃げることを大原則に、避難路、避難場所、避難施設のとネットワーク化を進める。また、防災意識を維持するため、防災教育をはじめと自助・共助のもとでの避難体制づくりを進める。				
スクラム 1	生命優先の減災まちづくりの推進 壊滅的な被害を受けた防波堤・防潮堤の復旧整備を行うとともに、後背地のまちりと連動させながら、道路や鉄道等を活用した多重防御により、生命を優先としたの考え方に基づくまちづくりを目指す。				
スクラム 2	住まいとコミュニティの再構築 地域コミュニティの維持・再生への配慮や高齢化の進展を前提としつつ、高台へ転や地盤のかさ上げ、浸水が想定される土地への建築規制などを組み合わせた安全住地の確保を推進する。				

当面の事業概要					
<平成 29 年度> 整地、呑口工、 転石運搬工					
<平成 30 年度> 整地、水辺整備工(石積工)、 法面整形 、 種子散布 、 呑口工 、 仮設工					
<平成 31 年度> 整地、アスファルト舗装工(駐車場工)、 法面整形 、 種子散布 、 芝張工 、 石積工 、 エントランス工 、 園路工 、 区画線工 、 管理施設工 、 仮設工					
<平成 32 年度> 整地 、 法面整形 、 種子散布 、 芝張工 、 石積工 、 園路工 、 呑口吐口工 、 仮設工					
東日本大震災の被害との関係					
●対象地区の被災状況					
地区名	浸水面積	全壊戸数	半壊戸数	死者行方不明者	最大津波水位 (痕跡値)
鵜住居地区 (片岸を含む)	232.0ha	931 戸	138 戸	389 人	10.5m
関連する災害復旧事業の概要					
鵜住居川水門工事 片岸堤防復旧工事					
※ 効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。					
関連する基幹事業					
事業番号					
事業名					
交付団体					
基幹事業との関連性					